

再整備の視点

蓮沼海浜公園の利用の活性化を図るためには、レジャーの多様化が進んだ現代のニーズに沿う、新たな集客施設等の導入をはじめとする再整備が必要となっている。

県外の認知度も高い「九十九里浜」に位置し、海に近接した立地を最大限に生かすことで、県民に親しまれ、県外からも誘客可能な魅力ある公園となるよう整備等を進めていく。

基本方針のテーマ

九十九里の魅力を感ずることができる
自然豊かなレジャー&リゾート空間を創出

人が集うためのサービス提供に必要な基盤となるファシリティの整備が必要

賑わい創出

レジャー・アクティビティ

海辺の活用

豊かな自然・憩い



※明記なき写真はPixabayより引用

基本方針の方向性

賑わい創出

- 九十九里ブランドを活かし、利用者等が日常を忘れゆっくり楽しむことができる、九十九里を代表するような場の創設
- 都内を含む関東圏や成田空港利用者等呼び込むとともに、賑わい空間を創出することで、交流の場となるパークカルチャーを演出する
- 九十九里ブランドの構築のためには地域との連携が必要
＜例＞宿泊施設、飲食施設、その他集客施設 等

飲食店エリア
(例:シチリア)



宿泊施設



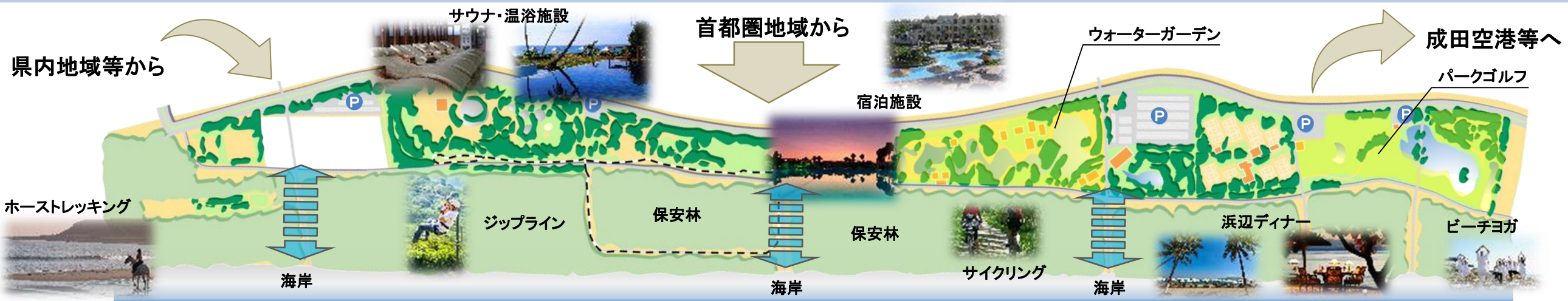
レジャー・アクティビティ

- 海・公園・保安林を活かし、人々が集うためのパラエティに富んだレジャー・アクティビティ施設の導入
- ウォーターガーデンの施設の充実を図ることで、集客力を向上
- 海、浜辺、保安林が一体となった空間の創出
＜例＞人が集うファシリティの設置

蓮沼ウォーターガーデン



立体アスレチック



海辺の活用

- 九十九里の資源である海の魅力が存分に感じられるように、海や浜辺を活用する
- 海との親和性がある空間を活かし、海と公園の一体感を創出する
- ビーチイベントの開催
＜例＞海が見える空間、公園と海岸のアクセス改善、浜辺との一体的な空間創出

青島ビーチパーク(HP)



海とつながりのある空間

豊かな自然・憩い

- 豊かな自然環境を活かし、ウェルネス体験ができる空間の創出
- 地元の人々からも愛される、自然を感じられる憩い空間を創出する
＜例＞海・浜辺や保安林を活用した憩いの空間、ペットと憩える空間、温浴施設、遊歩道 等

ビーチウォーク
(例:オーストラリア)



ウェルネス体験